

演劇講座は、演劇集団よろずやの主宰で、俳優・脚本家・演出家・演劇講師でもある寺田夢酔（むすい）先生を招いて、大阪の鶴橋と日本橋にある稽古場で講座を行いました。発声練習から演技指導まで行う本格的な演劇講座です。講座の始めに1時間ほどの発声練習を行った後、身体表現やパントマイム、戯曲の読解から音読など学校の授業では体験できない様々な指導が行われました。そして最後の講座では、寺田先生が脚本を担当した作品を使い実演しましたが、初めて演技をしたと思えないほどの出来栄で、講座を始めた頃に比べると生徒たちは人前で話し、発表することを恥ずかしがることがなくなり、様々な面で上達しました。演劇講座を通して、人前で話す時に重要なアイコンタクトの取り方や、自分の声が相手にどのように伝わり、どうすれば的確に伝えることができるかについて学ぶことができました。



演劇講師の寺田夢酔先生、引率教員と生徒たち



演技指導を受ける生徒たち

立命館宇治中学校・高等学校

〒 611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33-1

TEL : 0774-41-3000 FAX : 0774-41-3555

HP : www.ritsumei.ac.jp/ujc E-mail : uji-returnee@ujc.ritsumei.ac.jp

IBDP の目標の一つに、「地球を守るという共通の意識を持ち、より良い平和な世界を作ろうとする、国際的感覚をもった人材を育成する」(IB Learner Profile)とあります。「より良い平和な世界を作る」ことは海外に行って活動するだけではなく、自分たちの身近な地域の活動から始まります。その目標を達成するために、CAS 活動(創造性、活動、奉仕)があるのです。

IBDP 認定校として、立命館宇治高等学校の生徒は、プログラムの開始から様々な CAS 活動に参加しています。その活動には、スポーツ、学校外での語学教室、楽器演奏、学校行事の司会、学校新聞、土曜日の子供英語教室 RitsKids のサポートなどがあります。また、本校では、AIP の Pre-CAS 土曜講座と連携し、IBDP 生徒の CAS 活動もスムーズに行うことが可能になりました。

2010 年 10 月 10 日(日)に、現在 AIP の Pre-CAS 土曜講座で演劇講師を務めている寺田先生主宰の演劇公演のサポートを CAS 活動として仁賀奈真耶 (IBDP 高校 2 年)が行いました。公演 3 週間前には、衣裳・演奏担当の中村瀧海(たつみ)先生(二胡奏者、グラフィックデザイナー、俳優)から指導を受け、公演で使用する舞台衣裳を縫う作業を行いました。公演当日は、受付や楽屋など、舞台裏の仕事をし、舞台を作り完成するまでの一部始終を体験することができました。公演のサポートを通して、学校外の人々と接する機会を設けることができ、また、裁縫から公演当日の受付の仕事まで、学校の授業では決して体験することができないことにチャレンジすることができました。将来、国内に限らず世界で活躍する生徒にとって、今回に限らず、CAS 活動は非常に有意義であり、貴重な体験となると信じています。



衣裳・演奏担当の中村瀧海先生から裁縫の指導を受ける仁賀奈真耶 (IBDP 高 2)



IB プログラムには、小・中・高の発達段階に応じ、PYP・MYP・DP の一連の 3 つのプログラムがあります。立命館宇治では、高校 2・3 年対象の DP だけを正式に取り入れています。

しかし、高校 1 年生向けに Pre-CAS 活動を実践することにより、DP だけではなく、学校全体として IB の教育目標 (IB Learner Profile) を目指そうとしています。

IB 教育の長所を、普通の中学・高校の教育の中に積極的に取り入れていく姿勢・実践が、日本の学校が IB を導入する大きな意義です。それに導入 1 年目から果敢に挑戦しているこの学校の IB に注目しましょう。